

## 北栄町議会 一般会議 記録用紙

日 時	平成30年 1月24日 (水) 午後15時00分～ 午後17時00分	
実施場所	北栄町商工会館	
参加者数	団体名 <u>北栄町商工会</u> <u>14</u> 人	
主催者側	<u>議員 14人</u> 事務局 (磯江恵子)      1人	
司 会 者	野田秀樹	
記 録 者	長谷川昭二・藤田和徳・津川俊仁・野田秀樹・前田栄治・森本真理子	
会議記録	1 開 会	司会者は開会宣言を行った。
	2 あいさつ	飯田正征議長は、開会に当たり議会を代表して挨拶を行った。 つづいて、福井商工会長は、「私たちの思いを聞く時をもらいうれしく思う。そして意見交換したことが町の施策に反映されるように議会で発言されている姿を見るにつけ本当にうれしく、また大きな力を与えていただいていると感じている」と挨拶。
	3 出席者紹介	時間の都合上、別紙、出席者名簿にて紹介に代えた。
	4 意見交換	一般会議提出議題のテーマごとに商工会担当理事より議題の提起がされた後、意見交換が行われた。以下その発言内容の要約を記述した。  ○北栄町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について

**前田副会長**— 県の方では大体制定されているが、町村単位では、1・2カ所でまだ条例化していない。このたびの3月定例会で条例案を提案してもらうので、ご議決願いたい。

**長谷川議員**— 「商工会員は、地域の伝統・文化を支える担い手でもある」。それを町づくりと結びつけて加えた方がより広がる。

**福井会長**— 委員会を町でセッティングしてもらい、3回の会議を重ねている。たたき台を商工会の方でつくり、町に提出した。いくつかのやりとりがあって、昨日だったか最後の会議がなされたようだ。言われたように地域の伝統文化の側面からも、しっかり地域の産業が支えられて発展していくような枠組みをつくらなければありがたい。特に今まで手が差し伸べられなかった、1人とか2人の小規模事業者にも、しっかりと支援のメニューが届くようにしていただきたい。

**斉尾議員**— 基本計画を定めるということになると思う。それについてはどうか。

**小椋商工会事務長**— 昨日の第3回の条例の検討委員会では、商工会の方で素案を作り、それを町の委員会で揉んでいただいて基本計画を策定するという運びになるということだった。

**斉尾議員**— 基本計画が具体的な施策になると考える。先ほどあったように、1人2人の企業にも支援するスタンスで議論してもらいたい。

**阪本議員**— 条例の方は、自らやろうという思いが非常に伝わってくる。是非実現してほしいと強く思う。施策の検証を行い公表するとあるが、やはり検証は大事だ。ただキチッと検証できるか

どうかの問題もあるので、やる以上は本気でやってもらいたい。  
協力する。

**小椋事務長**—それについては、町から5年ということもあったが長すぎるので3年にとっている。

**福井会長**—この条例が制定されると鳥取県下の商工会では初めてとなる。そう進んでいることを誇りにしたい。

○大型商業施設の誘致に伴う地元商業者の支援について

**福井会長**—別紙資料「一般会議提出議題（平成29年度）」テーマ(3)「大型商業施設の誘致に伴う地元商業者の支援について」のとおり議題説明。

**宮本議員**—町民としては、大型店が来ることは町の活性化・大きな起爆剤として大きな期待がある。商工会の皆さんの苦しい立場はよくわかるが、これからは若い方がどんどん都会へ出てしまって大変厳しい。町の発展にはどうしても必要。協力してほしい。

**飯田議長**—基本条例の3ページに役割等が書いてある。企業が出てきても条例ができれば、これに従って進まなければならない。疑問が出たときには行政の方に、どんどん言ってもらいたい。大企業と小規模企業との連携も町の振興施策にも協力せよとある。気に食わんと思ったら、どんどん町の方に言ってください。

**福井会長**—非常にありがたい回答を宮本議員、飯田議長からもいただいた。町として大きな方向付けをしながら影響を受けるのではないかとされる零細事業者についてもキチッと町がホローするから心配するなどの答弁でうれしく思う。

このプラント出店に反対の方もいるかと思うので、逆の立場での意見を聞きたい。

**長谷川**—全国展開の大型店舗は、非正規雇用が中心。それが良質な雇用なのか疑問。会長からも「地元商店会の中には影響を受けるところもあるだろう」とあった。仮に販売不振などで撤退となれば影響が出ることもある。町づくりや住民の生活環境にとってどんな影響があるのかキチッと影響評価することが大事。その上で地元の小規模事業者さんの経営が継続できるような支援策も必要。

**司会者**—商工会から何かありませんか。

**福井会長**—懸念されることは我々もしっかりと現実を受け止め対応したいが、雇用のないところに、それが非正規であったにせよ雇用が発生することは正直に喜ぶたい。

**津川議員**—プラントの進出に賛成。町が新しい企業に支援していくのは良いが、同じ土俵で勝負するには既存の商店にも支援していくべきだ。商工会の皆さんが望むことがあれば、町に働きかけたい。例えば、商品券の発行あったが、ピンチをチャンスに変える具体的な提案をしてほしい。

**福井会長**—商業部を中心に、そのあたりを集約して相談にいきたい。

**阪本議員**—ここに（条例案）、商工業者と農業との連携とある。私は、プラントの進出には賛成だったが、順天堂ができて感じる。農家の購買力がすごく落ちてきた。順天堂やコメリを見ていて、その上にプラントが来たら共倒れになりはしないかと懸念強い。雇用も大変。昨年6月、西部の商工会の実態調査では、事業者の30%が自分の代で商売を辞める。20%が続けたいが後継者がいない。6月期のハローワーク米子の調査を見ると有効求人倍率は1.95で、今はそれを超えている。そういう状況で雇用の促進となると人の取り合いになる。だから、今元気のある商工業者・農家が生き残っていくことが一番大事。反対ではないが、限られた消費人口の中で、どんどん大型店を作っているものか。必ず誰かが負ける。そういうことも含めて検討してほしい。

**福井会長**—アグリフォーラムに参加して元気な農業者たちのプレゼンにときめいた。基本条例にあるようにあらゆる産業が連携しながら進めていくことが、町の力になる。

**斉尾議員**—是非出店してほしい。北栄町に本社機能を置くことができないか。

**福井会長**—本社機能についてはわからないが、商工会三役のミーディングでは、商工会員に入ってもらって北栄町に根付いてもらう企業として、お迎えしたいと協議している。

**斉尾議員**—基本条例の中に、本社機能の扱いについての研究を入れることはどうか。

**福井会長**—十分に考えられる。

○出会いの広場の今後の活用方針について

**中原理事**—別紙資料「一般会議提出議題（平成 29 年度）」のテーマ (4)「出会いの広場の今後の活用方針について」のとおり議題説明。

**宮本議員**—実現の有無は別として、私の夢は、ふるさと館を免許センター跡地に新築移転して、現在のふるさと館は、今の道の駅にある農産物直売所と絡めて農産物・特産物の直売所に出来たらと思う。(商工会一同拍手)

**中原理事**—現在、米花商店街もパットしていないが、商工会として今後もコナンに会える町を全面に押し出して頑張っていきたい。

**奥田理事**—「北栄町に安心して、子供を遊ばせる場所が無い」。と、若いお母さま方から聞く。コナンのファンだけではなく、地元の人が気軽に来られる場所が必要。観光客と地元の人達が一緒になって賑わいを創出することを考えてほしい。

**福井会長**—公園も必要でしょうが、現在のふるさと館の状況は、観光のピーク時には管内が身動きも取れない状況。特に、階段付近はいつ事故が起きてもおかしくない。もし、事故が有ればコナン人気が失墜する。

**山崎副会長**—台湾の観光会社より、今年の5月から12月までのふるさと館への入館予定が来ている。ほぼ、毎日の様に観光バス1台(35人)が来られる。それだけでも1万人になる。そここのところも考えてほしい。

**阪本議員**—免許センター跡地への美術館の誘致は残念だったが、マンガミュージアムの誘致と耐震に問題がある中央公民館大栄分館の新築移転、安心して子供を遊ばせられる公園等の複合した場所にして賑わいの創出を図ることが必要。

**中原理事**—米花商店街もスタートしたばかり。商工会としても、今後集客の手段を考えていきたい。

○「コナンの家、米花商店街」に対する支援について

**小椋理事**—別紙資料「一般会議提出議題（平成 29 年度）」のテーマ（6）「「コナンの家、米花商店街」に対する支援について」のとおり議題の説明。

**津川議員**—具体的には？

**小椋理事、福井会長**—米花商店街への道路案内看板の設置と、巨大迷路周辺の駐車場整備

**津川議員**—お応援する

**前田議員**—出店中のパン屋さん 100 円パンとうたっているながら 100 円でない。地元の人が集まるお店作りを。（地元の人を大切に）

**飯田議長**—参加店舗の撤退が心配。地元の人への呼びかけをしてほしい。米花商店街から迷路に抜ける（迷路に行ける）仕組みづくりを考えては？

**森本議員**—議会の委員会でも数回利用しているが、商工会員を含め、もっと町民の人が出かけられる店にしてほしい。

**町田議員**—オープンしているのか否か、何をやっているのかわからない。もっと宣伝してほしい。音楽を流して、集客をしては？

**山崎理事**—音楽は、著作権の関係で、外部に大判では流せない。店内で、ゲリラ的に流すしかない。館内の案内看板を最近設置した。今後、のぼりを立てたい。隣のスムージー屋さんも、長期冬眠に入り、北栄町での飲食店は難しい事を再認識した。もう少し長い目で見てほしい。

**吉村理事**—コナン館に対して、米花商店街の認知度は、まだまだ低い。コナン館からの誘導看板を含めて、案内看板の設置を是非お願いしたい。

#### ○町内の商工業振興に対する基本的な考え方について

**田中議員**—振興政策は、議員は執行部ではなく、出来ないことを「やるやる」というのは、如何かと思うので農業も商工業に関しても書いていません。決して商工関係をおろそかにしているわけではない。何がしたいのか見えてこない。

基本計画が出来ても何ら具体的なことがどんどん入るわけではないと思う。

どういうことがしたいと、アピールあれば、もっと突っ込んだ話し合いができると思っている。提案型で出てくれば、それを執行部に働きかけることもできるが、見えてこんど、何々をすとか言いにくい。

**福井会長**—選挙のしおりみると農業のことは沢山あったが、商工業について活字になっていたのは、お一人も見つけられなかった。

田中議員は、基本条例ができて何もできないと言われたが、私は認識が違う。基本計画のなかで、例えば、異分野へ事業展開する際の補助、新規雇用したときに賃金の一部助成とか、具体的に形にされていくのではないか。新たな設備投資をしたときに固定資産税を一部減免とかを次の計画の中で提言したい。

**長谷川議員**—私は、住宅リフォーム助成制度・小額の町が発注する事業の登録制度（入札資格のない、小規模事業者を登録することによって、自治体が発注する小額の工事・修繕の受注機会の拡大を図り、以て、地域経済の活性化に繋げる）を仕事づくりという面での支援として提案している。

中小・小規模事業者が 10 何年かの中に 100 万弱という単位で減少しているので、地域を支えていく上でも支援が必要。

**宮本議員**—砂丘地農業は大変厳しい状況、どうするのが大きな課題。

農業で沢山儲けてもらえば、商工業の発展にも繋がると思うので、砂丘地も大栄地区も、農業の町として、議会も支援しながら商工会の発展に繋がるように取り組みたい。

**秋山議員**—商工会の方々は、何を願っておられるのかよくわからないので、全面的に応援するだとか何をとっばらうだとか、何をしやすいように、という応援するところが見えてこないのが現状。

○前回、前々回の議題についての回答のまとめについて

担当の寺方理事が出席できなかったので、代読で別紙資料「一般会議提出議題（平成 29 年度）」のテーマ（1）「前回、前々回の議題についての回答のまとめについて」のとおり提起がされ、回答が求められた。

**井上議員**—平成 27 年度（1）集合店舗建設並びに運営にかかる支援策については、実施済み。（2）商工専門担当課の新設による商工業者の育成支援と産業振興策の強化については、担当課の新設は、議会からも産業振興課のボリュームが膨らんでいるとあった。現在、観光振興課を新設している。（3）雇用の確保と若者の地元定着については、これまでも産業振興条例で寺方さんからも、毎回のように要望があり、町も徐々にではあるがハードルを下げて、現在は町外の人を雇用しても、助成金が出ている。

（4）町発注の公共工事については、町長は、「ことあるごとに町内の事業所さんでできることは町内の事業所へ」と言っているが、必ずしもそうになっていない。工事の発注方法も、もう少し町内の事業所への配慮があってもいいのではないかと思うので、議会も公共工事のあり方について、もう少し深く勉強させてほしい。（5）「美術館」並びに「まんがミュージアムの誘致」については、先ほど阪本議員の方からあったので、それで返させてもらおう。

28年度(1) 集合店舗オープン後の継続的事業支援については、振興課の回答でもあったと思うが、固定資産税の免除については、無理とのことなので、ご了解いただきたい。(2) 振興基本条例の制定については、三月議会に執行部から提案される。(3) 企業の事業展開と行政等の支援については、先ほど、それぞれ意見交換されたので、具体的に基本条例が制定されて基本計画に移った段階で、細かいことも詰めていければと思う。(4) 県立美術館の誘致については、美術館はできないが、私も、これまでのご意見もそうだが、北栄町に道の駅が二つあることが本当に必要なかどうかも含めて、現在の「出会いの広場」の広大な土地を有効活用する上で、やはり、米花商店街・巨大迷路だけでは、とても不十分であろうと、やはりそこに、ふるさと館であったり、道の駅であったり、いろいろなものを総合的に組み込んだ、ものにしていかなくてはならないと思う。

**福井会長**—井上議員ありがとうございます。本来これは、毎回の議会だよりを見ておれば、質問は出ないと思う。次からは、こういう類いについては、去年はこういう項目が出た。それに対しての現状とか、議会の皆さんの動きを、一覧にして資料につければ、こんな質問も回避できるのではないか。議会のみなさんが商工会員の皆さんの意見に、真剣に考え反映してもらっていることはよく承知している。商工会としても、質問の仕方を、もう少しスマートにしたい。

**飯田議長**—ひと言、商工会へは回答が帰っているのだから、商工会からどうしてほしいと出てきてしかりと思う。

○町内企業のインターンシップの支援について

**商工会（代読）**—別紙資料「一般会議提出議題（平成 29 年度）」のテーマ (5)「町内企業のインターンシップの支援について」のとおり議題の説明。

**斉尾議員**—学生の長期休みに、学生対象の就業体験(ワーキングホリデー)をしてみてもは。

**井上議員**—町内事業所で新卒採用は少なく、中途採用が圧倒的に多い。中途採用に対する支援対策をしては。

**福井会長**—確かに実態は中途採用による雇用創出が多いが、少なからず新卒採用もある。少数だが実情を理解してもらいサポートを。町内製造業者が倉吉に建設地を求めた事は非常に残念。雇用を生み出す製造業は北栄には少ないので、今後は配慮してサポートしてもらいたい。今後の課題としてもらえたらありがたい。

**津川議員**—インターンシップ支援補助金実績はどうか。

**福井会長**—2～3件。学生受け入れ補助金は H28 か 29 年から。小額でも町のサポートがあるぞ、というメッセージは事業者にとって大きな励みとなる。

**町田議員**—障害者雇用のため、町内事業所に説明に廻って理解を求めている。理解をされて実際に雇用をされている事業所を知りたい。

**福井会長**—非常に個人的な情報のため発言を控えたい。役場か

		<p>ら直接聞いてほしい。</p> <p><b>町田議員</b>—障害者雇用という事を考えてほしい。地元中央育英高校の生徒は「地域探求」等で地域の事業所の研究もしている。インターンシップを高校に出向き働きかけてはどうか。</p> <p><b>福井会長</b>—すでに、いくつかの事業所は出向しているしインターンシップを実施している。</p> <p><b>飯田議長</b>—更生保護(犯罪歴者雇用)への考え方は。</p> <p><b>北野理事</b>—周りにそのような状況があまりないが、雇用のためには人柄がきちんとわかる状況があって初めて進んでいけるのでは。</p> <p><b>伊藤理事</b>—昨年、人権学習を会社で実施した。社内で雇用をどうしていくのかという話になった。社員の理解や部署を束ねていく役職の理解がないとスムーズに取り組めない問題ではないか。社内でもそういう話をするがその方の人なりや会社内の和がどうなるのかといった不安の方が強くてなかなか難しい。出来れば当社としては、そういった取り組みを視野に雇用を考えていきたい。</p> <p><b>飯田議長</b>—更正保護の委員だけで取組んでもなかなか前に進まない。どうしても企業の皆さんの協力がないと駄目なのでよろしくをお願いしたい。</p>
5 あいさつ		<p><b>町田副議長</b>—皆さん本日は、本当にお疲れ様でした。今日の内容は充実していて、質疑の方も大変だったと思います。基本条例も十分検討して、いい計画も立てて、それにそって、私たちもできることを一生懸命やっていきたい。本当に今日は意義ある会合</p>

		<p>だった。最後に、商工業にあまり関心がないのではないかという意見があったが、議員は全員、商工業が発展してこそ北栄町も発展すると考えていると思う。今後とも交流をお願いしたい。ありがとうございました。</p>
	6 閉会	<p><b>司会者</b>—限られた時間の中、いろんなご意見ご要望に、議会も真剣に取り組んでいきたい。今日はありがとうございました。</p> <p>以上午後 5 時 00 分で終了。</p>
特記事項		<p>○「前回、前々回の議題についての回答のまとめについて」については、福井会長から、「次からは、こういう類いについては、去年はこういう項目が出た。それに対する現状とか、議会の皆さんの動きを、一覧にして資料につければ、こんな質問も回避できるのではないか」という提案があった。</p>